



市制施行30周年記念式典

11月13日、文化体育館「ひだかアリーナ」で、市制施行30周年記念式典を開催しました。30年前に埋めたタイムカプセルの開封式、「健幸のまち」宣言、記念マンホール蓋の披露などを行いました。
問い合わせ 政策秘書課企画調整担当 式典の様子はYouTubeでご覧いただけます▶



▶タイムカプセルの開封

30年前に日高武蔵ライオンズクラブと共同で埋めたタイムカプセルを掘り起こして開封しました。タイムカプセルに入っている当時の全小・中学生を対象に行った30年後の自分に宛てたタイムレターなどを皆さんに返却していきます。



▼記念マンホール蓋披露

市内在住のお二人に描いていただいたデザインの記念マンホール蓋を作製しました。詳しくは28ページをご覧ください。



◀タイムカプセルに入っていたものの一部を、12月28日(火)まで市役所1階ロビーで展示しています。



▶市勢要覧の発行

市制施行30周年を記念して、日高市の魅力を分かりやすく紹介する市勢要覧を発行しました。「日高日和」と題し、当市の歩み、現在の姿、未来に向けた取り組み、市民の皆さんが積極的にまちづくりに関わる姿などを紹介しています。
 ※一般配布はありません。



市ホームページで公開しています▶



30 years anniversary Message

日高市は、平成3年10月1日に埼玉県で42番目の市として市制を施行しました。それから30年を経た現在も、日和田山や巾着田、高麗川の清流に代表される豊かな自然と共生し、高麗郡建郡1300年の歴史ある郷土をはぐくんでいます。これからも豊かな自然と悠久の歴史を後世に引き継ぎ、更なる飛躍に向け市民の皆さんとともに日高市を愛する心を大切にしまちづくりを進めていきます。



ちふれASエルフェン埼玉



(一社)飯能地区医師会(岡村記念クリニック)

「健幸のまち」宣言



新宿・旭ヶ丘



(株)埼玉種畜牧場(サイボク)

近年、医学の進歩や健康意識の高まりから、「人生100年時代」とも言われていることや、平均寿命が延びる中で、多くの方が「健康で、生き生きと、幸せに暮らすこと(健幸)」を望んでいます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、日々の生活が大きく変化し、市民の生活習慣の乱れや体力の低下、さらには、心の健康悪化などが懸念されています。

そこで日高市は、市制施行30周年を迎えるにあたり、市民一人一人が健康づくりに取り組むことや、地域の人と人とのふれあいの中で、「健幸」を実感できるまちの実現を目指して、「健幸のまち」を宣言しました。

問い合わせ 保健相談センター予防担当 ☎985-5122



私たちのまち「日高市」は、清流にカワセミが飛ぶ豊かな自然に恵まれ、伝統ある文化の息づくまちです。

人生100年時代にあって、このまちで、健康で、生き生きと、幸せに暮らすこと(健幸)は、市民みんなの願いです。

市民一人一人が健康づくりに取り組み、地域の人と人とのふれあいの中で、健幸を実感できるまちを目指し、ここに「健幸のまち」を宣言します。

- 自分に合った運動を、楽しく続けて、健康づくりに取り組みます
- 十分な休養をとり、心身をリフレッシュして、こころの健康を保ちます
- 自分のからだを知り、生活習慣を改善して、病気を予防します
- おいしく、楽しく食べて、元気なからだをつくります
- 笑顔であいさつ、声を掛け合って、健康づくりの輪を広げます
- お互いを認め合い、生きがいをもって、活躍できる社会を目指します